
大好きな気持ち

桜木 桜花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大好きな気持ち

【Nコード】

N8594P

【作者名】

桜木 桜花

【あらすじ】

私の体験談をつづった詩です。
よんでもらえたら、嬉しいです。

みんなが見ている小説やドラマによく登場するであろう、

悪役

よく人の恋路の邪魔をする、あの嫌なやつからだ。

でも、どんなにムカついても、何故か心の奥底で、悪役の気持ちに
同感してしまう私がいる。
全く私もいやな奴だ。

私は、人の恋路をこの手で、ひねりつぶしたことがある。

2

いつだったろうか。

一人目の子は、私がすごく嫌っていた。
周りの子も何人か嫌っている子がいた。
だからって、別に集団でいじめた訳じゃない。

独断だ。

その子が好きって言っていた人は、私も好きだった。
その日から、その子の悪い所を見つけると、私は好きな人に聞こえ
るように、その悪い所を言った。

その子が彼を好きなことも、学年中に広まった。

その後、その子とは仲良くしているものの、

罪悪感は消えない。

そして、もう一人は現在進行形。

それは、自分自身。

彼に告白をして、すっかり気まづくなり、私は
『諦めた。』

と伝えた。

本音じゃない。

でも、彼はすごく喜んでいて、私もつい喜んだ。

でも、そう言っただけでは、信じてもらえなかった。
信じてもらえないのがいやだった。

目を合わせるのが、とても気まづくて、いやだった。
だから、私は…

好きでもない人に告白した。

自分のプライドを捨てて彼が喜べるように。

でも、告白した相手にはふられたし、迷惑をかけた。
メルアドを知っていたので、相手に

『迷惑をかけてごめん』とメールを送ったら、こんなバカな私に
『そんなこと気にしてないからいいよ。君は、全然迷惑かけてない
よ。』

と優しい言葉を返信してくれた。
本当にいい人だ。

突然涙腺が緩み、

失恋して初めて泣いた。

どんなに好きだとしても、伝わらなくて。
大好きで仕方なくて、彼の笑顔が見たくて。
私に優しい言葉をくれた人にも迷惑をかけたのに、
それでも、私が彼を好きな気持ちは、消えなかった。
この気持ちを消してくれる人ができるまで、
もう少し、あなたを好きでいさせて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8594p/>

大好きの気持ち

2011年1月8日23時59分発行